

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年3月25日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年3月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(C)共沈タンクpHサンプルポンプの異音について】 当社社員が、既設多核種除去設備(C)共沈タンクpH計サンプルライン酸洗浄後の漏れ確認のため、pHサンプルポンプを起動した際に、サンプル流量が規定流量流れないこと、および当該ポンプから異音が発生していることを確認。このことから、ポンプの不具合と想定。 なお、当該ポンプが使用出来ない間でも、多核種除去設備運転中は処理水pHの手分析を行っているため、既設多核種除去設備の運転に支障はない。 今後、当該ポンプの点検と交換予定。</p>	GⅢ	3月18日
2	<p>【増設雑固体廃棄物焼却設備建屋の換気空調室外機の破損について】 協力企業作業員が、増設雑固体廃棄物焼却設備建屋の屋外において、物品荷下ろしのため、運搬車両荷台より台車を移動させた際に、運搬車両から台車が転落し、当該の換気空調室外機を破損させた。 室外機の破損によるフロン漏えいはないことを確認。 今後、換気空調設備室外機を交換予定。</p>	GⅢ	3月22日
3	<p>【減容処理設備 埋込金物設置作業における協力企業作業員の負傷について】 2021年10月18日に、協力企業作業員が、減容処理設備建設エリアにおいて吊搬作業中に鉄板が落下し左手薬指を負傷。 当日、入退域管理棟救急医療室で医師の診断を受けず退社し、後日病院を受診。左手薬指を7針の縫合治療を受けた。 本災害については、一次下請企業から報告を受けた元請企業が2022年1月14日に当社に連絡。 当社および元請企業から富岡労働基準監督署に報告。3月23日に、元請企業と一次下請け企業が富岡労働基準監督署より指導票を受領したことを当社に連絡。 今後、同様の不適切な対応が発生しないよう指導予定。</p>	GⅢ	1月14日
4	<p>【承認書上覧時における承認権限者の誤りについて】 当社社員が、2022年1月13日に、労働者派遣に関する承認書を上覧しグループマネージャーに承認を得ていた。 2022年3月23日に、別件の労働者派遣に関する計画実施承認の手続き中に、承認権限者が発電所長であることを確認し、1月の承認時の権限者が相違していたことが発覚。 現在、計画実施承認と契約書再締結について手続きを行っている。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	3月23日